

家畜生体機構学特論 (2単位)

担当者氏名 木村順平

◆学習・教育目標

家畜の“からだ”の機能と構造について、様々な視点から理解を深める。野生動物から人為的に家畜化された、かれらの本来の生き様とは何なのか。草食獣と肉食獣との比較、鳥類と哺乳動物との比較、歩行様式の差異などを通して、家畜・家禽の“からだ”の機能と形態について学習する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

比較解剖学
機能形態学
哺乳類学
鳥類解剖学

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1 ～ 4	家畜とは	・哺乳動物、鳥類、家畜の分類学的、機能・形態学的特徴	・哺乳動物一般、鳥類一般および家畜・家禽の“からだ”の機能・形態学的特徴について理解を深める。
5 ～ 6	運動器と歩行様式	運動器（骨と筋）の形態学的特徴と機能	・動物の主要な骨、筋肉、四肢の構造についての事前予習が必要。
7 ～ 9	生殖器と生存戦略	生殖器の機能・形態学的特徴、生殖器の形態と適応・生存戦略との関係	生殖器基本構造を理解し、特異な生殖器を有する哺乳動物数についてその形態と適応・生存戦略との関係を学ぶ。
10 ～ 12	消化器	消化器の機能・形態学的特徴、肉食獣と草食獣の機能・形態の比較	肉食性家畜と草食性家畜との機能・形態の違いを消化器を中心に比較する。
13 ～ 15	院生による発表-1	・家畜または野生動物から一種を選び、その分類、形態、機能的特徴について口頭発表する。	・パワーポイントを用いて発表を行う。発表態度、スライドの質などについても学ぶ。

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

適宜、資料を配布

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

哺乳類の生物学 (2) 形態/大泰司紀之/東京大学出版会 (1998)

楽しい解剖学-ぼくとチョビの体のちがいを-/佐々木文彦/学窓社 (2007)

これから学会発表する若者のために-ポスターと口頭のプレゼン技術-/酒井聡樹/共立出版 (2010)

哺乳類の進化/遠藤秀紀/東京大学出版会 (2002)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

小テスト (50%) とレポート (50%) による総合評価

◆その他受講上の注意事項

講師と受講学生との間の双方向のコミュニケーションを重視する。受講中の積極的な発言が期待される。
